

骨転移のみ認めた乳癌患者の予後に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年12月23日～2025年12月31日

〔研究課題〕

骨転移のみ認めた乳癌患者の予後

〔研究目的〕

転移再発乳癌では約30%の患者さんで最初に骨に転移と言われています。骨転移によって、痛み、骨折、脊髄圧迫、高カルシウム血症などの症状を来すことによってQOLが低下し、予後も不良とされます。ただし、骨以外の他の臓器にも転移をもつ患者さんと比較し、骨転移のみの患者さんの方が予後は良好であると指摘されています。しかしながら骨転移のみの患者さんの中でも予後の良い患者の因子については分かっていません。

〔研究意義〕

乳癌の骨転移単独で認められる患者さんの中でどのような患者さんの予後が良いのか、または悪いのかをはっきりとすることによって、その後の治療に活かすことができ、骨折などの合併症や予後の延長につながる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2007年7月から2022年11月までの期間に帝京大学医学部附属病院で骨転移のみを認めた乳癌の患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、情報の加工を行います。研究終了時には情報を帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。研究成果は学会発表や学術論文発表を行う可能性があります。その際は個人情報保護に十分配慮し、データを加工し、集計値として情報をとりまとめます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 池田達彦 職名 講師
所属： 帝京大学医学部外科学講座
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1231(直通)